



「スマイルホーム」

日野中学校 一年 岡崎 彩夏



私が今、「一番欲しいものは何ですか?」と聞かれたら、迷わず「スマホ(スマートフォン)」と答えます。そのくらい若い世代の私たちにとって「スマホ」は、すごく魅力的なものです。

なぜ私たちが「スマホ」を魅力的に感じるかというと、まず一つ目の理由に、携帯電話の役割として、友達と通話やメールをできることが挙げられます。また、パソコンの役割として、インターネットで調べたり、色んなソフトを取り込めるということも挙げられます。さらに、その取り込んだアプリを使って楽しめる、ゲーム機としての役割もあります。それらは若い世代の私たちにとって未知の世界ですが、それらがスマホによって同時に、しかも自分専用に入るので、これ以上魅力的なものはありません。

また、これは私が実際に体験したことなのですが、スマホを持っていないことが大変不便に思ったことがあります。私が入っている部活では、スマホの「ライン」というアプリを使って、部員内で連絡を回すことができました。当然私には連絡が回ってこなかったもので、学校に行くと友

だちに聞くまで知りませんでした。姉によると高校では、連絡をラインのグループで回すのは当たり前のことだそうです。確かに、地震などの災害情報や、学校の安心・安全メールなども携帯やスマホに連絡が来る時代なので、私がスマホを持っていても良いんじゃないかと思います。

しかし、私はまだスマホを持つことを親から許してもらえません。せめて私が中学校を卒業するまでは心配だから持たせたくないそうです。なぜかと聞いてみると、確かにその気持ちも少し分かる気がしました。スマホの魅力の裏側には、様々な落とし穴が存在することがわかったからです。

まず、メールの既読無視から始まるいじめなどの問題、そしてインターネットからの出会い系サイトを通じて、犯罪に巻き込まれるなどの問題、さらにゲームのやりすぎなどに代表される「スマホ依存」の問題などがあります。その他にも高額な料金や、昼夜逆転による健康面の被害など、多くの問題が指摘されていますが、本当にスマホはそんなに悪いものなのでしょうか。これは中学校の先生に聞いた話なのですが、ある私立の学校では、スマホをうまく使うことができないかということで、学校から生徒全員に配布され、四月から授業に活用されたそうです。スマホを使って、生徒からの意見や感想をリアルタイムに聞いたり、先生からデータを一齐配信したり、それまでの授業では考えられなかった

ような学習ができたそうです。でも、ある生徒らがアプリなどができないようにしてあったロックをはずし、みんなもロックをはずして授業中にゲームをやり始めてしまいました。結局、スマホを活用した授業はやめてしまったと聞きました。すぐく残念だなあと思いました。

この例から分かるように、スマホは使い方の問題なのです。つまり、スマホに問題があるのではなく、それを使う人間に問題があると思います。人間はこれまで石器やナイフなどの道具に始まり、最近では自動車や原子力など生活を便利にするものを発明してきました。しかし、そのつど使い方を誤り、様々な問題に直面してきました。そこで法律やルールを作り、守ることで生活を豊かにしてきました。だからスマホも法律やルールを作ってみんなで守っていくことで正しい使い方が出来ると思えます。

スマホのスマはスマートという言葉ですがスマートを辞書で調べると、「行動などがキビキビして洗練されているさま」という意味があります。まさに、「スマート」にスマホを使っていきたいものです。そして、スマホには「スマイルホーム」の意味もあると、私は考えたいです。そうすれば、家庭に笑顔があふれるような、スマホの使い方ができるとおもいます。

私はまだスマホを持っていませんが。今の時代、いつか必ず持つこと

ができると思います。そのときに、家族が安心してくれるような正しい使い方が出来る判断力を身に付けておきたいです。

